

2018年 1 月21日 実施

平成29年度（第58回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈プログラミング部門〉
第 1 級 試 験 問 題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで，試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 9 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 【1】 【2】 【3】 【4】 【5】 【6】 は共通問題です。
5. 【7】 の問題は J a v a ・ マクロ言語のいずれか一つを選択し，解答用紙の選択言語を ☐ で囲んでください。
6. 電卓などの計算用具は使用できません。
7. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
8. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
9. 制限時間は60分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

【 4 】 次の各問いに答えなさい。

問 1. 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(3)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

配列に記憶した数値を並べ替えてディスプレイに表示する。

処理条件

1. 配列 Atai に数値を記憶する。なお、データ件数は n 件である。

配列

Atai	(0)	(1)	～	($n-2$)	($n-1$)
	55	76	～	67	81

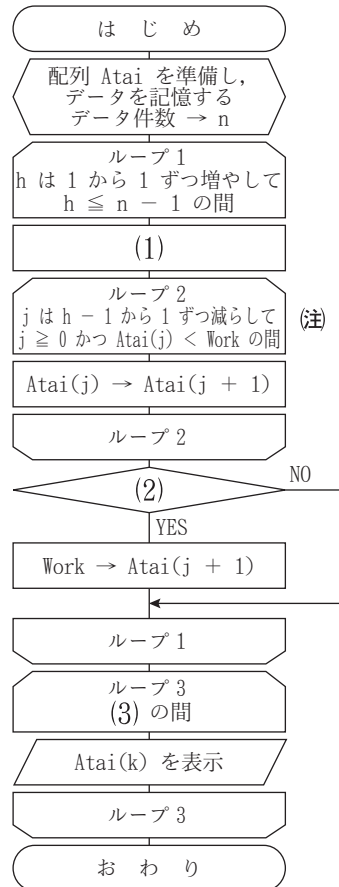
2. 配列 Atai の数値を降順に並べ替える。
3. 並べ替えが終わったら、配列 Atai の内容を表示する。

解答群

- ア. $j = h - 1$
 イ. k は 0 から 1 ずつ増やして $k \leq n - 1$
 ウ. $\text{Atai}(n - 1) \rightarrow \text{Work}$
 エ. $j \neq h - 1$
 オ. $\text{Atai}(h) \rightarrow \text{Work}$
 カ. k は 1 から 1 ずつ増やして $k \leq n$

(注) 条件式が「かつ」で複合されている場合、先に記述された条件式が偽になった時点で、判定を終了する。

<流れ図>



問 2. 流れ図の説明を読んで、流れ図の(4)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

配列に記憶した文字列を探索してメッセージをディスプレイに表示する。

処理条件

1. 配列 Moji に文字列を昇順に記憶する。なお、データ件数は n 件であり、同じ文字列はないものとする。

配列

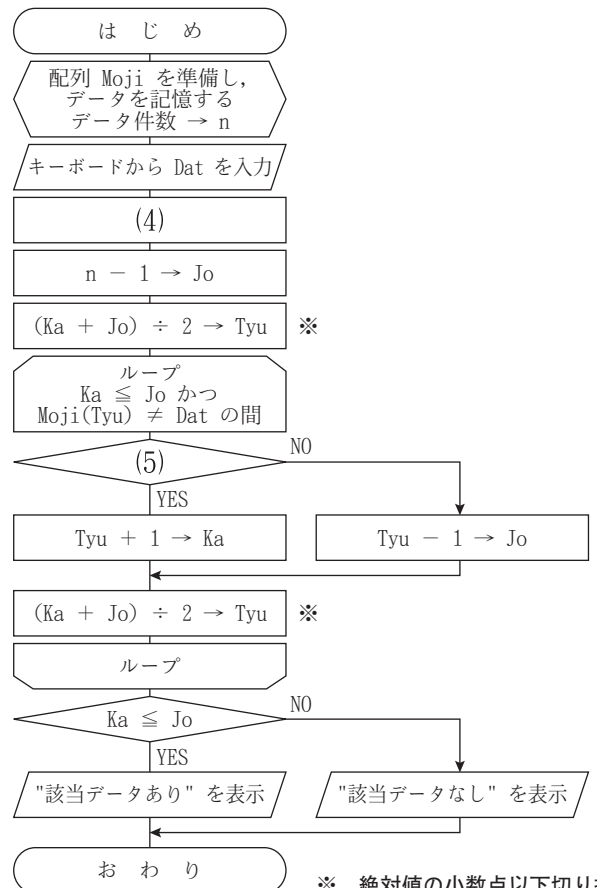
Moji	(0)	(1)	～	($n-2$)	($n-1$)
	clover	daisy	～	tulip	violet

2. キーボードから入力した文字列をもとに配列 Moji を探索し、見つかった場合は 該当データあり を、見つからなかった場合は 該当データなし を表示する。

解答群

- ア. $0 \rightarrow \text{Ka}$
 イ. $\text{Moji}(\text{Tyu}) > \text{Dat}$
 ウ. $\text{Moji}(\text{Tyu}) < \text{Dat}$
 エ. $1 \rightarrow \text{Ka}$

<流れ図>



※ 絶対値の小数点以下切り捨て

【 5 】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

あるディスカウントストアの1か月分の売上データを読み、売上発注状況一覧をディスプレイに表示する。

入力データ

商品番号 (Sban)	商品名 (Smei)	月初在庫数 (Szai)	売上数 (Uri)	適正在庫数 (Tzai)
×××××	×～×	×××	×××	×××

(第1図)

実行結果

(売上発注状況一覧)							
(大分類名)	(中分類名)	(商品名)	(月初在庫数)	(売上数)	(発注数)	(備考)	
食品	飲料	恵み豊かな天然水	165	152	168	発注増	
		あなたのうま茶	200	118 (合計)	118 630		
	美容健康	化粧品	豆乳全身化粧水	60	31	31	発注増
			天然綿コットンパフ	55	51 (合計)	56 245	

(第2図)

処理条件

- 第1図の入力データは、商品番号の昇順に記録されている。
なお、商品番号は次の例のように構成されており、大分類番号は1～8、中分類番号は1～50である。

例 1 2 6 1 8 → 1 2 6 1 8
大分類番号 中分類番号 連番

- 配列 Dmei に大分類名を、配列 Tmei に中分類名を記憶する。なお、Dmei の添字は大分類番号と対応し、Tmei の添字は中分類番号と対応している。

配列

Dmei	(0)	(1)	(2)	～	(7)	(8)
		食品	衣類	～	家庭雑貨	園芸
Tmei	(0)	(1)	(2)	～	(49)	(50)
		飲料	菓子	～	観葉植物	肥料

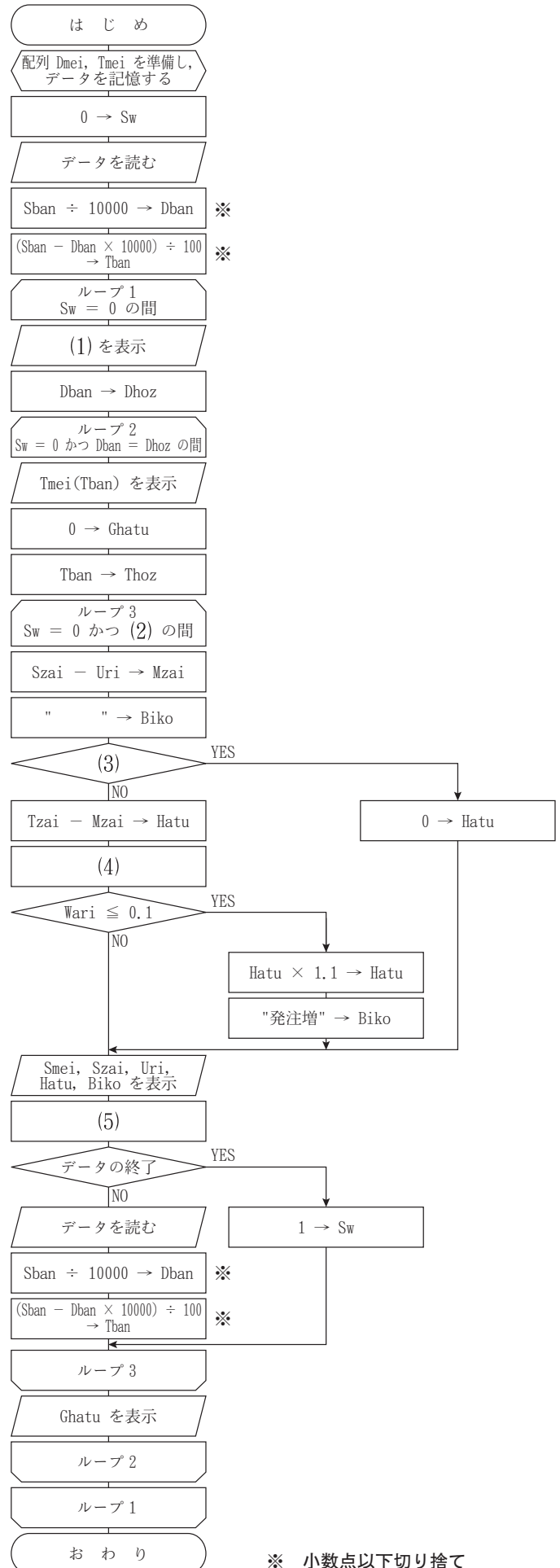
- 第1図の入力データを読み、次の処理を行う。
 - 大分類がかわるごとに大分類名を、中分類がかわるごとに中分類名を表示する。
 - 月末在庫数を次の計算式で求める。

$$\text{月末在庫数} = \text{月初在庫数} - \text{売上数}$$
 - 月末在庫数が適正在庫数以上の場合、発注しない。月末在庫数が適正在庫数未満の場合、発注数と月末在庫割合を次の計算式で求める。なお、月末在庫割合が0.1以下の場合、発注数を1.1倍し、備考を発注増とする。

$$\text{発注数} = \text{適正在庫数} - \text{月末在庫数}$$

$$\text{月末在庫割合} = \text{月末在庫数} \div \text{適正在庫数}$$
 - 商品名から備考までを第2図のように表示する。
 - 中分類がかわるごとに発注数の合計を求め、第2図のように表示する。
- データにエラーはないものとする。

<流れ図>



※ 小数点以下切り捨て

解答群

- ア. Dmei(Sban)
- イ. Tban = Thoz
- ウ. Tzai ÷ Mzai → Wari
- エ. Ghatu + Hatu → Ghatu
- オ. Tban ≠ Thoz
- カ. Mzai ÷ Tzai → Wari
- キ. Mzai ≥ Tzai
- ク. Ghatu + Uri → Ghatu
- ケ. Dmei(Dban)
- コ. Mzai < Tzai

【6】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

コーヒー専門オンラインショップの3か月分の新銘柄販売データを読み、新銘柄販売状況一覧をディスプレイに表示する。

入力データ

日付 (Hi)	顧客メールアドレス (Kmail)	銘柄番号 (Mban)	数量 (パック) (Suryo)
××××	×～×	××	×～×

(第1図)

実行結果

(新銘柄販売状況一覧)			
(銘柄名)	(販売金額合計)	(複数回購入した顧客数)	
ブレンドエスプレッソ冬	2,142,400円	158人	
	(最大購入回数顧客メールアドレス)	(購入回数)	(購入金額)
	suzuki. xxxxx@xxxx. com	13回	48,000円
	kaneko_ zzzz@zzz. zz. jp	13回	41,600円
}			
極上ローストXmas	2,099,200円	148人	
	tanaka. xxxxx@xxxx. com	12回	43,200円
}			

(第2図)

処理条件

- 第1図の銘柄番号は1～20である。なお、すべての銘柄の販売データがある。また、顧客メールアドレスの件数は2,000以下である。
- 配列 Mmei に銘柄名を、配列 Mtan に単価を記憶する。なお、Mmei, Mtan の添字は銘柄番号と対応している。

配列

Mmei		Mtan	
(0)		(0)	
(1)	グアテマラ農園	(1)	2080
}	}	}	}
(19)	ブレンドエスプレッソ冬	(19)	1600
(20)	旬のコロンビア	(20)	2250

- 第1図の入力データを読み、顧客メールアドレスをもとに配列 Hmail を探索し、次の処理を行う。
 - 顧客メールアドレスが見つからなかった場合、Hmail に顧客メールアドレスを追加する。
 - 配列 Hkai に販売回数を、配列 Hkin に販売金額を求める。なお、Hkin の0列目には合計を求める。また、Hkai, Hkin の行方向の添字は銘柄番号と対応し、Hmail の添字と Hkai, Hkin の列方向の添字は対応している。

配列

Hmail	(0)	(1)	(2)	～	(1999)	(2000)
				～		
Hkai	(0)	(1)	(2)	～	(1999)	(2000)
(0)				～		
(1)				～		
}	}	}	}	}	}	}
(20)				～		

(最大)

Hkin	(0)	(1)	(2)	～	(1999)	(2000)
(0)				～		
(1)				～		
}	}	}	}	}	}	}
(20)				～		

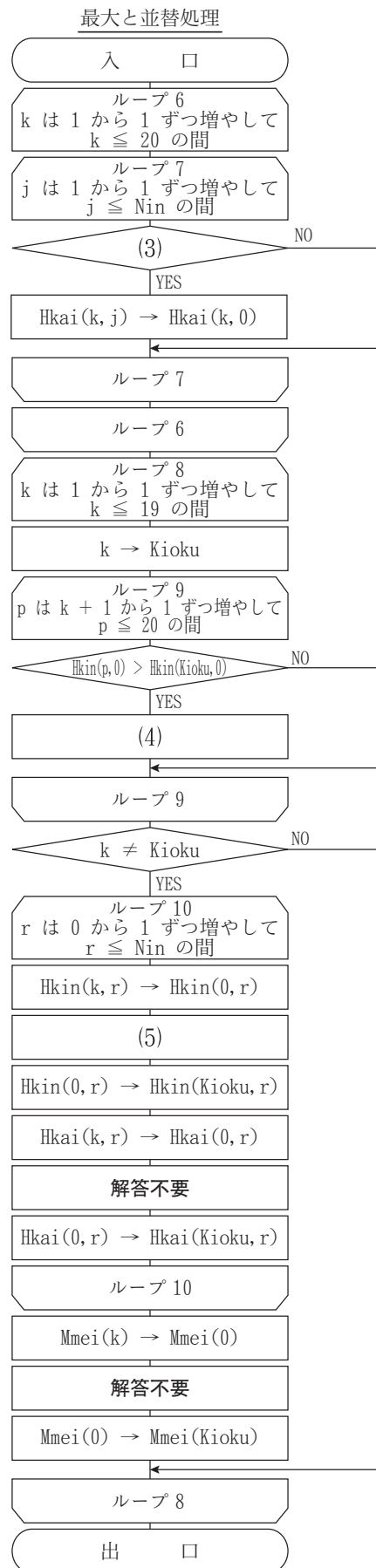
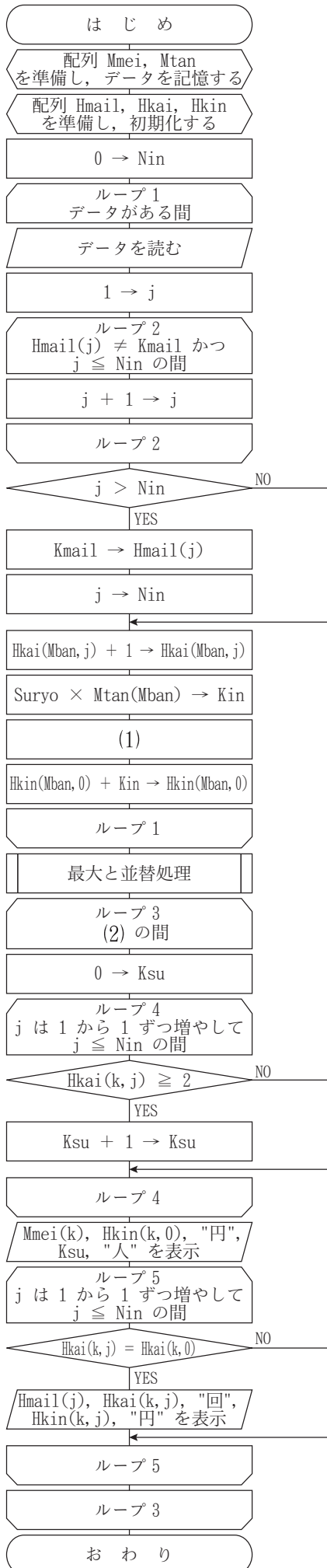
(合計)

- 入力データが終了したら、次の処理を行う。
 - 銘柄ごとに最大販売回数を求める。
 - 銘柄ごとの販売金額合計の降順に並べ替える。
 - 銘柄ごとに複数回購入した顧客数を求め、銘柄名から複数回購入した顧客数までを第2図のように表示する。
 - 銘柄ごとに販売回数を購入回数として、販売金額を購入金額として、最大購入回数顧客メールアドレスから購入金額までを第2図のように表示する。
- データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. k は1から1ずつ増やして $k \leq 20$
- イ. $Hkin(k, r) \rightarrow Hkin(Kioku, r)$
- ウ. $Hkin(Mban, j) + Kin \rightarrow Hkin(Mban, j)$
- エ. $Hkai(k, j) < Hkai(k, 0)$
- オ. $p \rightarrow Kioku$
- カ. $Hkin(0, j) + Kin \rightarrow Hkin(0, j)$
- キ. k は1から1ずつ増やして $k \leq Nin$
- ク. $Hkai(k, j) > Hkai(k, 0)$
- ケ. $k \rightarrow Kioku$
- コ. $Hkin(Kioku, r) \rightarrow Hkin(k, r)$

< 流れ図 >



【7】 プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)～(5)を答えなさい。

＜プログラムの説明＞

処理内容

ある靴量販店の商品データと1か月分の販売データを読み、集計結果を表示する。

入力データ

商品データ（ファイル名：product.csv）

販売データ（ファイル名：selling.csv）

商品コード	商品名	原価	定価
×××	×～×	×××××	×××××

(第1図)

日付	商品コード	数量	割引率(%)
××××	×××	×	××

(第2図)

実行結果

カテゴリーコード(1～6)を入力してください→2					
スニーカー【金額合計：1,561,830】					
順位	商品名	数量計	金額計	利益計	利益率
1	カジュアル○○	16	129,430	24,230	18.7%
1	軽量型○○	16	55,620	5,620	10.1%
1	}	}	}	}	}
10	スピード○○	8	50,920	6,520	12.8%
入替検討商品					
45	○○防水加工	1	3,800	425	11.2%
45	爽快○○	1	7,315	540	7.4%
カテゴリーコード(1～6)を入力してください→6					
スポーツ【金額合計：1,810,745】					
1	}	}	}	}	}

(第3図)

処理条件

- 第1図の商品データは商品コードの昇順に記録されている。なお、商品コードは、次の例のように構成されており、各カテゴリーの商品番号は1からの連番で、商品の種類は50以下である。

例 1 2 9 → $\frac{1}{\text{カテゴリーコード}}$ $\frac{29}{\text{商品番号}}$

- 配列 cName にカテゴリー名を記憶する。なお、カテゴリーコードは 1～6 であり、cName の添字と対応している。

配列

cName	(0)	(1)	(2)	～	(6)
		フォーマル	スニーカー	～	スポーツ

- 商品カテゴリー情報を管理する Category クラスをインスタンス化し、配列 ct に記憶する。なお、ct の添字はカテゴリーコードと対応している。

配列

ct	(0)	(1)	(2)	～	(6)
				～	

- 第1図の商品データを読み、配列 pName に商品名を、配列 cPrice に原価を、rPrice に定価を記憶する。なお、pName, cPrice, rPrice の添字は商品番号と対応している。

配列

pName	(0)	(1)	(2)	～	(50)
				～	
cPrice	(0)	(1)	(2)	～	(50)
				～	
rPrice	(0)	(1)	(2)	～	(50)
				～	

- 第2図の販売データを読み、次の処理を行う。
 - 金額を次の計算式で求め、配列 sTotal に数量を、配列 aTotal に金額を集計する。なお、sTotal(0) と aTotal(0) には合計を求める。また、sTotal, aTotal の添字は商品番号と対応している。

$$\text{金額} = \text{数量} \times \text{定価} \times (100 - \text{割引率}(\%)) \div 100$$

配列

sTotal	(0)	(1)	(2)	～	(50)
				～	
aTotal	(0)	(1)	(2)	～	(50)
				～	

(合計)

- データを読み終えたあと、次の処理を行う。
 - 配列 rank を利用して数量計の降順に順位をつける。なお、数量計が同じ場合は同順位とする。また、rank の添字は商品番号と対応している。

配列

rank	(0)	(1)	(2)	～	(50)
				～	

- キーボードからカテゴリーコードを入力すると、金額合計と1位から10位までの商品について、第3図のようにディスプレイに表示する。
- 金額合計から、すべての商品の数量計に原価を乗じた値を引いて利益合計を求める。
- 平均数量計と平均利益率を次の計算式で求め、数量計が平均数量計の2分の1未満、かつ利益率が平均利益率未満の商品について、入替検討商品として第3図のように表示する。

$$\text{平均数量計} = \text{数量合計} \div \text{商品数}$$

$$\text{平均利益率} = \text{利益合計} \times 100 \div \text{金額合計}$$

- キーボードからカテゴリーコードとして 9 が入力されたら処理を終了する。

<Javaプログラム>

```
//クラスCategory
public class Category {
    private String[] pName = new String[51];
    private int[] cPrice = new int[51], rPrice = new int[51], sTotal = new int[51], aTotal = new int[51], rank = new int[51];
    private int item;
    private String cName;
    public Category(String cName) {
        this.cName = cName;
    }
    public void pInfo(int pCod, String pNam, int cPri, int rPri) {
        item = pCod % 100;
        pName[item] = pNam; cPrice[item] = cPri; rPrice[item] = rPri;
    }
    public void calc(int pCod, int sales, int dRate) {
        int idx = pCod % 100;
        int sPrice = sales * rPrice[idx] * (100 - dRate) / 100;
        sTotal[idx] += sales;
        (1);
        aTotal[idx] += sPrice;
        aTotal[0] += sPrice;
    }
    public void ranking() {
        for(int k = 1; k <= item; k++) {
            (2);
            for(int n = 1; n <= item; n++) {
                if((3)) {
                    rank[k] += 1;
                }
            }
        }
    }
    public void printResult() {
        System.out.printf("%-5s 【金額合計: %,9d】 ¥n", cName, aTotal[0]);
        System.out.println(" 順位   商品名           数量計   金額計   利益計   利益率");
        for(int r = 1; r <= 10; r++) {
            for(int n = 1; n <= item; n++) {
                if(rank[n] == r) {
                    int profit = aTotal[n] - sTotal[n] * cPrice[n];
                    double pRate = (double) profit * 100 / aTotal[n];
                    System.out.printf("    %2d   %-7s    %3d    %,7d   %,7d   %4.1f%¥n", r, pName[n], sTotal[n], aTotal[n], profit, pRate);
                }
            }
        }
        int pTotal = aTotal[0];
        for(int n = 1; n <= item; n++) {
            (4);
        }
        int avgSales = sTotal[0] / item;
        double avgRate = (double) pTotal * 100 / aTotal[0];
        System.out.println(" 入替検討商品");
        for(int n = 1; n <= item; n++) {
            int profit = aTotal[n] - sTotal[n] * cPrice[n];
            double pRate = (double) profit * 100 / aTotal[n];
            if(sTotal[n] < avgSales / 2 && pRate < avgRate) {
                System.out.printf("    %2d   %-7s    %3d    %,7d   %,7d   %4.1f%¥n", rank[n], pName[n], sTotal[n], aTotal[n], profit, pRate);
            }
        }
    }
}

//クラスShoeStore
import java.io.BufferedReader;

public class ShoeStore {
    private static String[] cName = { "", "フォーマル", "スニーカー", "ブーツ", "サンダル", "レイン", "スポーツ" };
    private static Category[] ct = new Category[7];
    public static void main(String[] args) {
        for(int g = 1; g < cName.length; g++) {
            ct[g] = new Category(cName[g]);
        }
        try {
            BufferedReader fileIn1 = new BufferedReader(new FileReader("product.csv"));
            String line;
            while((line = fileIn1.readLine()) != null) {
                String[] str = line.split(",");
                int pCod = Integer.parseInt(str[0]);
                String pNam = str[1];
                int cPri = Integer.parseInt(str[2]);
                int rPri = Integer.parseInt(str[3]);
                ct[pCod / 100].pInfo(pCod, pNam, cPri, rPri);
            }
            fileIn1.close();
            BufferedReader fileIn2 = new BufferedReader(new FileReader("selling.csv"));
            while((line = fileIn2.readLine()) != null) {
                String[] str = line.split(",");
                int pCod = Integer.parseInt(str[1]);
                int sales = Integer.parseInt(str[2]);
                int dRate = Integer.parseInt(str[3]);
                ct[pCod / 100].calc(pCod, sales, dRate);
            }
            fileIn2.close();
        } catch (Exception e) {
            System.out.println("エラーが発生しました" + e);
        }
        for(int i = 1; i <= 6; i++) {
            ct[i].ranking();
        }
        Scanner keyboardIn = new Scanner(System.in);
        System.out.print("カテゴリコード(1~6)を入力してください→");
        int cCod = keyboardIn.nextInt();
        while(cCod != 9) {
            (5);
            System.out.print("カテゴリコード(1~6)を入力してください→");
            cCod = keyboardIn.nextInt();
        }
        keyboardIn.close();
    }
}
```

【7】 プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)～(5)を答えなさい。

＜プログラムの説明＞

処理内容

ある駅周辺に立地するビジネスホテルの 1 か月分の利用者アンケートデータを読み、ビジネスホテル評価順位を表示する。

入力データ

ホテルデータ (ファイル名: hoteru.csv)

ホテルコード	ホテル名	前回順位
×	×～×	×

(第 1 図)

利用者アンケートデータ (ファイル名: anketo.csv)

利用日	ホテルコード	人数	料金	客室評価	施設評価	食事評価	立地評価	接客評価
××××	×	×	×～×	×	×	×	×	×

(第 2 図)

ユーザーフォーム・実行結果

ビジネスホテル評価順位

ホテル名	前回順位	今回順位	備考
サウスホテル	2	1	↑
ノースホテル	6	4	↑
}	}	}	}
駅南ホテル	8	8	—
駅前ホテル	1	2	↓

(Label1)

分析ホテルの選択

☒ サウスホテル (CheckBox1)
 ☐ ノースホテル (CheckBox2)
 ☒ 駅南ホテル (CheckBox8)
 ☒ 駅前ホテル (CheckBox9)

表 示

終 了

選択したホテルの分析結果と順位

サウスホテル	今回順位	1位	平均料金	6,853円
【客室評価】☆☆☆☆☆☆☆☆	9.62	1位		
}	}	}	}	}
【接客評価】☆☆☆☆☆☆☆☆	8.91	2位		
}	}	}	}	}
駅南ホテル	今回順位	8位	平均料金	6,902円
【客室評価】☆☆☆☆☆☆☆☆	7.56	6位		
}	}	}	}	}
【接客評価】☆☆☆☆	4.42	9位		

(TextBox1)

処理条件

- 第 1 図のホテルコードは 1～9 である。
- 第 2 図の客室評価から接客評価は、1～10 の点数が記録されている。なお、すべてのホテルに対する利用者アンケートデータがある。
- ユーザーフォーム初期化時に、次の処理を行う。
 - 配列 Kmei に評価項目名を記憶する。

配列

Kmei	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	客室	施設	食事	立地	接客	

- 第 1 図のホテルデータを読み、配列 Hmei にホテル名を、配列 Jun の 0 列目に前回順位を記憶する。なお、Hmei, Jun の行方向の添字はホテルコードと、Jun の列方向の添字は配列 Kmei の添字と対応している。

配列

	Hmei	Jun	(0)	(1)	～	(5)	(6)
(0)		(0)			～		
(1)	サウスホテル	(1)	2		～		
}	}	}	}	}	}	}	}
(9)	駅前ホテル	(9)	1		～		
			(前回順位)	(客室)	～	(接客)	(今回順位)

- 第 2 図の利用者アンケートデータを読み、配列 Nkei に人数を、配列 Rkei に料金を、配列 Tkei に客室評価から接客評価の点数を集計する。なお、Tkei の 0 列目にアンケート件数を、6 列目に点数の合計を求める。また、Nkei, Rkei, Tkei の行方向の添字はホテルコードと、Tkei の列方向の添字は配列 Kmei の添字と対応している。

配列

	Nkei	Rkei	Tkei	(0)	(1)	～	(5)	(6)
(0)		(0)				～		
(1)		(1)				～		
}	}	}	}	}	}	}	}	}
(9)		(9)				～		
	(人数)	(料金)		(アンケート件数)	(客室)	～	(接客)	(合計)

- データを読み終えたあと、配列 Rkei に平均料金を、配列 Tkei に平均点数を求め、配列 Jun を利用して Tkei の評価項目ごとおよび合計の平均点数の降順に順位をつける。なお、平均点数が同じ場合は同順位とする。
 - Label1 にホテル名から備考を第 3 図のように表示する。なお、備考は、前回順位より今回順位が高い場合は ↑ を、低い場合は ↓ を、同じ場合は — を表示する。
- 第 3 図の分析ホテルの選択 (CheckBox1～9) にチェックを入れると 1 を、チェックをはずすと 0 を、配列 Check(1)～(9)に記憶する。なお、Check の添字はホテルコードと対応している。

配列

Check	
(0)	
(1)	
}	}
(9)	

- 第 3 図のように分析ホテルの選択を指定し、「表示」ボタンをクリックすると、選択したホテルの分析結果と順位を、今回順位の昇順に TextBox1 に表示する。なお、各評価の平均点数を小数点以下四捨五入した値の数だけ ☆ を表示する。

< マクロ言語プログラム >

Option Explicit Dim Kmei(5) As String, Hmei(9) As String, Jun(9, 6) As Long, Nkei(9) As Long, Rkei(9) As Long, Tkei(9, 6) As Double, Check(9) As Long
Private Sub UserForm_Initialize() Dim Code As Long, Mei As String, Juni As Long, Hi As Long, Nin As Long, Kin As Long, g As Long, h As Long, i As Long, Biko As String Kmei(1) = "客室": Kmei(2) = "施設": Kmei(3) = "食事": Kmei(4) = "立地": Kmei(5) = "接客" Label1.Caption = "": TextBox1.Text = "" CheckBox1.Value = False: CheckBox2.Value = False: ~ CheckBox8.Value = False: CheckBox9.Value = False Open ThisWorkbook.Path & "Yhoteru.csv" For Input As #1 Do While Not EOF(1) Input #1, Code, Mei, Juni Hmei(Code) = Mei Jun(Code, 0) = Juni Loop Close #1 CheckBox1.Caption = Hmei(1): CheckBox2.Caption = Hmei(2): ~ CheckBox8.Caption = Hmei(8): CheckBox9.Caption = Hmei(9) Open ThisWorkbook.Path & "Yanketo.csv" For Input As #2 Do While Not EOF(2) Input #2, Hi, Code, Nin, Kin, Tkei(0, 1), Tkei(0, 2), Tkei(0, 3), Tkei(0, 4), Tkei(0, 5) Nkei(Code) = Nkei(Code) + Nin Rkei(Code) = Rkei(Code) + Kin Tkei(Code, 0) = Tkei(Code, 0) + 1 For g = 1 To 5 Tkei(Code, g) = Tkei(Code, g) + Tkei(0, g) Next g Loop Close #2 For h = 1 To 9 Rkei(h) = Rkei(h) / Nkei(h) For g = 1 To 6 Tkei(h, g) = Tkei(h, g) / Tkei(h, 0) Next g Next h For g = 1 To 6 For h = 1 To 9 For i = 1 To 9 If Jun(h, g) = Jun(h, g) + 1 End If Next i Next h Next g For h = 1 To 9 If Jun(h, 0) > Jun(h, 6) Then Biko = "↑" ElseIf Jun(h, 0) < Jun(h, 6) Then Biko = "↓" Else Biko = "—"

(平成30年 1 月21日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成29年度（第58回）情報処理検定試験プログラミング部門 第1級

解 答 用 紙

1	2	3	4	5

1	2	3	4	5

1	2	3	4	5

小 計

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

小 計

..... [J a v a] ・ [マ ク ロ 言 語]

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

試験場校名	受 験 番 号	選 択 言 語	
		J a v a	マ ク ロ 言 語

小 計

合 計

選択言語を で囲むこと

(平成30年1月21日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成29年度（第58回）情報処理検定試験プログラミング部門 第1級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5	
	サ	ア	シ	キ	カ	各2点 計10点

【2】	1	2	3	4	5	
	ク	コ	オ	ウ	キ	各2点 計10点

【3】	1	2	3	4	5	
	ウ	ウ	ア	イ	ア	各2点 計10点

小 計

30

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
	オ	エ	イ	ア	ウ	各3点 計15点

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
	ケ	イ	キ	カ	エ	各3点 計15点

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
	ウ	ア	ク	オ	コ	各3点 計15点

小 計

45

..... [J a v a] ・ [マクロ言語]

[J a v a] (注) =, 演算子の前後の空白は問わない。

【7】	(1)	s T o t a l [0] += s a l e s	
	(2)	r a n k [k] = 1	
	(3)	s T o t a l [k] < s T o t a l [n]	
	(4)	p T o t a l -= s T o t a l [n] * c P r i c e [n]	
	(5)	c t [c C o d] . p r i n t R e s u l t ()	

[マクロ言語] (注) 大文字, 小文字および=, 演算子の前後の空白は問わない。

【7】	(1)	T k e i (C o d e , 6) = T k e i (C o d e , 6) + T k e i (0 , g)	
	(2)	J u n (h , g) = 1	
	(3)	T k e i (h , g) < T k e i (i , g)	
	(4)	J u n (k , 6) = j	
	(5)	H o s i	

各5点 計25点

試験場校名	受 験 番 号	選 択 言 語		小 計	合 計
		J a v a	マクロ言語	25	100

選択言語を ☐ で囲むこと